

2025（令和7）年度 大阪府内地域連携プラットフォーム
分科会1企画 第2回共同SD研修 実施報告書

1. 開催概要

■日時：2025（令和7）年7月31日（木）14：00～17：00

※17：00～18：00の間で名刺交換会・情報交換会、大阪女学院大学キャンパスツアーを実施

■会場：大阪女学院大学 201 教室（大阪市中央区玉造2丁目26-54）

■テーマ：“次の一手”を描くための中間レビューータイプ3の取組の棚卸しと戦略設計

■講師（大学名五十音順）：

- ・藍野大学 大学事務センター 学生支援グループ グループ長 深 由香利 氏
- ・大阪医科薬科大学 薬学総務部 総務課 主任 小川 徹 氏
- ・大阪大谷大学 大学企画課 課長補佐 森田 好人 氏
- ・大阪国際大学 IR室兼基幹教育機構事務室 課長代理 前河 泰正 氏
- ・大阪女学院大学 事務局 管理課 課長 橋本 健 氏
- ・関西大学 総合企画室 企画管理課 課長補佐 菅原 良将 氏
- ・帝塚山学院大学 教学センター 企画課 主査 福西 佑介 氏

■司会・コーディネーター：

- ・大阪女学院大学 事務局 管理課 課長 橋本 健 氏

■受講者数：20 大学 34 名

■企画・運営：大阪府内地域連携プラットフォーム 分科会1

2. 開催趣旨

私立大学等改革総合支援事業、特にタイプ3・プラットフォーム型（以下、「タイプ3」という。）に関連する取組の棚卸しと中間レビューを行い、次に打つべき施策や方針、すなわち“次の一手”を整理することを目的とする。

また、グループでの共有や対話を通じて、大学間での気づきや連携可能性の発見を促進し、令和7年度申請や新たな事業展開に資する基盤づくりを目指す。

3. 到達目標

- ・自大学のタイプ3に関する現在地（進捗や課題）を客観的に把握できる。
- ・中間レビューを通じて、学内調整や次年度以降の企画に活かせる要点を整理できる。
- ・他大学との共有や対話を通じて、連携や発展の可能性を見出すことができる。

4. 講義内容

- ・共同研究の実施・参加（共⑩・個⑦）、授業科目の共同開講（共⑳・個⑱）講師：大阪医科薬科大学
- ・地域に対する支援活動の展開・参加（共⑪・個⑧）講師：関西大学
- ・公開講座の実施・参加①（共⑫・個⑨）講師：藍野大学
- ・公開講座の実施・参加②（共⑫・個⑨）講師：大阪大谷大学
- ・施設・設備の共同利用（共通⑱・個⑮）講師：大阪国際大学・帝塚山学院大学
- ・学生募集活動に係る取組（共⑲・個⑯）講師：大阪女学院大学

※共通・個別の設定番号は令和7年度のものを示す。



5. スケジュール

内 容	備 考
開会挨拶・趣旨説明・スケジュールの確認	
令和7年度申請に関する情報共有	事務局より申請スケジュールや変更点、ポイントを説明
各大学の事例紹介	各大学の取組の事例紹介、質疑応答
休憩	
アイスブレイク	グループごとでの自己紹介、簡単な交流
役割分担	グループ内でファシリテーター、発表担当者、記録担当者を決定
個人ワーク	自大学の現状を振り返り、課題解決に向けた対応・工夫を検討
グループディスカッション	(1) 各大学の課題 (2) 課題解決内容 (3) 課題解決のために連携したい大学名
グループ発表・相互コメント	グループ発表、フィードバック・コメント
総括・事務連絡	修了証授与
名刺交換会・情報交換会・キャンパスツアー	キャンパスツアー参加は希望者のみ

6. グループ討議の共有

(1) 共通する課題（全体傾向）

- ・既存の取組をいかに加点に結びつけるか
- ・業務の属人化
- ・学内調整の難しさ

(2) グループごとの討議内容

【Aグループ】

- ・課題：施設の共同利用、公開講座の講師依頼、共同研究の取組への壁が高い
- ・アクション：
 - ▶クラブ活動の連携による施設共同利用を推進（9月30日までに調整）
 - ▶公開講座をオンライン形式に切り替える
 - ▶自治体と連携した公開講座では、縦割り体制により理解を得にくい課題がある
 - ▶研究者の共有データベースが大学コンソーシアム大阪にあれば参考になる

【Bグループ】

- ・課題：学内の取組把握不足、業務縦割りにによる連携難、公開講座の講師確保と集客
- ・アクション：
 - ▶委員会を活用し、上意下達の情報伝達スキームを構築
 - ▶関西大学の事例を参考にデータブックを作成
 - ▶既存取組を活用して発展させることが重要
 - ▶図書館や商業施設等にチラシを配布するなど広報活動を強化

【Cグループ】

- ・課題：タイプ3申請がトップダウンで進められることによるプレッシャー、新規取組の学内調整困難、公開講座講師の確保・継続性
- ・アクション：
 - ▶共同 IR や研究の拡充が重要
 - ▶部会長校から外れた分の加点調整を検討
 - ▶他大学との連携強化
 - ▶大学コンソーシアム大阪が仲介役となり、大学間クラブ活動のマッチングを推進
→加点につながる大学が増える可能性あり

【Dグループ】

- ・課題：大学全体や教員への理解を得るハードルが高い、担当者の理解の深化が必要
- ・アクション：
 - ▶各設問で得点獲得に至った理由や根拠資料の整合を理解する
 - ▶近隣大学と部活動等で連携し、施設共同利用を加点につなげる
 - ▶他部署からの資料や根拠資料を整理し、課内・全学説明会を実施することで理解を深化

【Eグループ】

- ・課題：学内体制構築、他大学との連携、施設共同利用、留学生進学支援、担当者間での時間不足
- ・アクション：
 - ▶プラットフォーム参画を学内へ展開
 - ▶公開講座の講師依頼が特定教員に偏っているため、体制整備が必要
 - ▶新規参画大学には、他大学からの積極的な声掛けや交流機会の提供が望ましい

【Fグループ】

- ・課題：学内調整の困難、担当者交代による業務停滞と属人化
- ・アクション：
 - ▶キックオフ会議を設けて業務を整理してから進行
 - ▶施設共同利用の加点事例を参考にする
 - ▶新規取組を増やすよりも、既存取組をいかに加点につなげるかが重要

6. 受講者アンケート結果

別紙のとおり

以上

**2025(令和7)年度 大阪府内地域連携プラットフォーム
分科会1企画 第2回共同SD研修 受講者アンケート集計結果**

回答者数 18名 / 受講者数 34名 回答率 50.0%

1. 本研修を受講した理由

・タイプ3プラットフォームの他大学取り組みを聞きたかったため。(3件)
・タイプ3の点数を獲得するための情報交換やヒントを探るため。(4件)
・SDの内容に興味があったため。
・私立大学等改革総合支援事業タイプ3 PF型の理解を深め、選定および会員大学間連携強化のための次の一手を検討するため。(8件)
・改革総合支援事業の内容について、構成員の方々との関係性を構築し、要領等の理解を深めるため。
・他大学の取り組み状況などを共有し、加点に繋げるため。

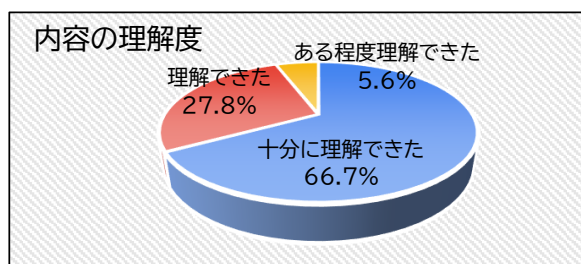
2. 研修内容について

(1) 内容の理解度

単位: 名

十分に理解できた	12
理解できた	5
ある程度理解できた	1
あまり理解できなかった	0

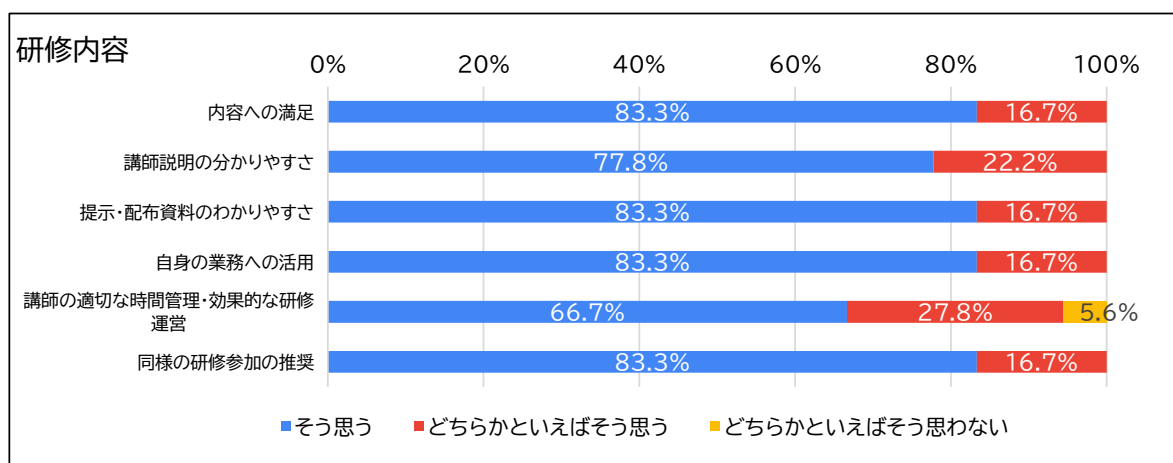
18



(2) 研修内容について

単位: 名

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
内容について満足している	15	3	0	0
講師の説明は分かりやすかった	14	4	0	0
提示・配布された資料は分かりやすかった	15	3	0	0
研修で学んだことは、自身の業務に活かせる	15	3	0	0
講師は適切な時間管理のもと、効果的な研修運営を行った	12	5	1	0
同様の研修が開催されれば誰かに勧めたい	15	3	0	0



(3) 受講してよかったと思う点

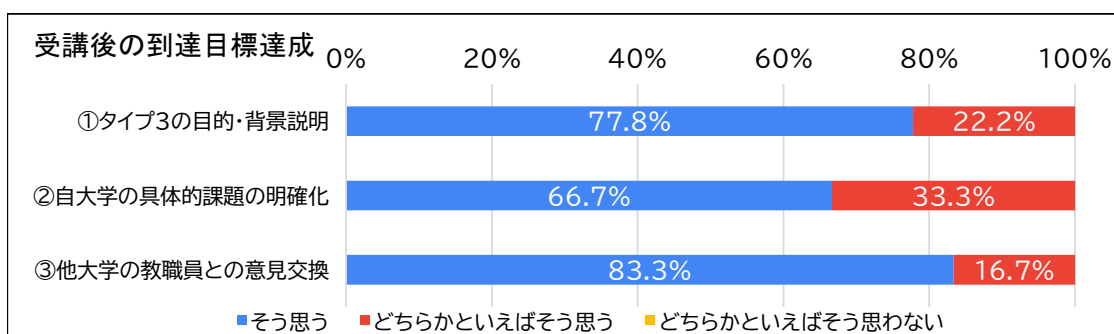
・他大学の事例、他大学の皆様との情報交換(2件)
・各大学の具体的な取り組み事例を知ることができたこと。 また、気になった点について質問することで理解を深めることができたこと。(2件)
・他大学の取組事例に加えて、それぞれの大学の学内申請体制(トップダウン方式等)も知ることができ、とても参考になった。
・他大学の情報提供、またグループワークによって課題を挙げることができたこと。
・他大学の職員との交流及び取組み事例を知ることができたこと。
・他大学の取組内容について具体的に知ることができ、参考にしたい学びがあった。(2件)
・SD研修の度にグループが変更となるため、広く他大学と交流ができること。
・他大学様と加点につながる打ち合わせを行えた。
・共同研究や施設の共同利用が設間に入っている中、力を入れたい大学同士のマッチングの場にもなっており良い機会になっていると感じる。
・自大学の取組を発表したことで、他大学との交流を深めることができた。

3.到達目標達成度と受講後の効果

(1) 受講後、到達目標を達成できたか

単位:名

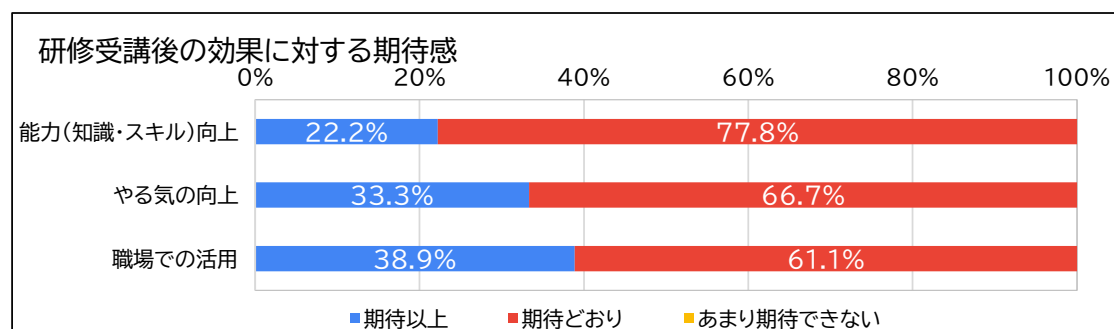
	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
①私立大学等改革総合支援事業(タイプ3)の目的や背景について説明できるようになること	14	4	0	0
②自大学における設間に関連する具体的な課題を明確にできるようになること	12	6	0	0
③グループワークを通じて、他大学の教職員と意見交換ができること	15	3	0	0



(2) 研修受講後の効果に対する期待感

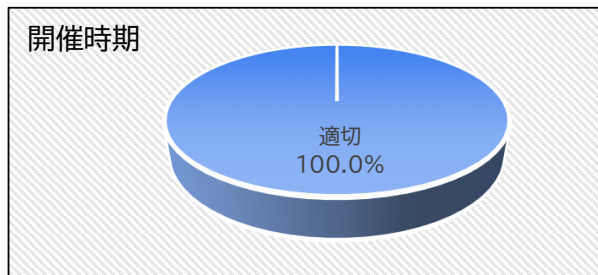
単位:名

	期待以上	期待どおり	あまり期待できない	期待できない
能力(知識・スキル)向上	4	14	0	0
やる気の向上	6	12	0	0
職場での活用	7	11	0	0



4.開催時期

単位:名	
適切	18
適切でない	0
〔希望する開催時期について〕	
18	



5.その他

(1)本研修をよりよいものとするための提案

- ・グループワークのお題を絞った方が、じっくり話し合えるようにも感じました。
- ・次回はグループワークのみとし、グループの中で点数が取れていない設問について対策を議論してはどうか。
- ・他大学と共同取組をしたいがどこの大学にどう声を掛けてよいか分からない設問の一覧等が大学ごとにあれば、マッチングが実現しやすい仕組みを構築できるかと思います。ご検討いただけますと幸いです。

(2)上記以外の感想や意見

- ・正確な情報を繰り返し伝えていただき、わかりやすいです。
- ・お忙しい中、企画、ご準備ありがとうございました。
- ・活発な意見交換ができる貴重な研修だと感じています。
- ・こういった研修は、やはり対面開催がよい。
- ・対面で開催することにより、他大学の職員との距離が近くなり、分科会後のやり取りもしやすくなりました。

(3)今後、大阪府内地域連携プラットフォームで実施してほしい研修

- ・他のコンソーシアム(京都、神戸)との合同研修の開催
- ・改革総合について、「タイプ3・PF型」以外について情報交換するSD研修を開催してはどうか。
- ・引き続き、今後も共同SD研修を実施(企画)していただくとありがたいです。